

---

**【連続シンポジウム】「東京の住宅地」の現在と未来****第3回：高齢化が進む郊外住宅団地の未来を考える  
～住宅地における多様な主体の連携～**

---

11年ぶりの新版「東京の住宅地 第四版」の執筆者らとともに、人口減少期・東京圏の住宅地における現在と未来を考える連続シンポジウムを開催する。

第3回は、第四版のメインパートで、同時代の課題に直面する地域毎の実態や取組みに関する事例を収録した第III部「研究・実践事例」のうち、「住民を超えた取組み」から2題、2人の執筆者に報告していただく。いずれも郊外住宅団地の事例で、高齢化の進展を背景として、学生や医療施設、行政などの多様な主体と連携し新たな取組みを進めている事例である。こうした事例を踏まえながら、東京の高齢化が進む郊外住宅団地の未来を考えるための視点や方策について議論したい。

**日 時**：2015年3月3日（火）14:00～17:00

**会 場**：日本大学理工学部（東京都千代田区神田駿河台1-8-14）

**主 催**：日本建築学会 関東支部 住宅問題専門研究委員会

〈プログラム〉

趣旨説明：梅本舞子（幹事／千葉大学）

主題解説：1. 「郊外団地に入居する学生とその活動～武里団地と幸手団地の事例から～」

佐々木誠（日本工業大学）

2. 「活力ある超高齢社会をつくる次世代団地のあり方～豊四季団地を事例に」

後藤純（東京大学）

討 議：コメンテーター・室田昌子（東京都市大学）

司会・後藤智香子（主査／東京大学）

**参加費**：会員 500円、学生 無料、一般 1000円（当日会場払い）

（資料代別「東京の住宅地 第四版」頒布価格1500円）

**定 員**：70名（申込み先着順）

**申込み**：こちらの申し込みフォームからお申し込みください

**日本建築学会 関東支部** E-mail:kanto@aij.or.jp TEL03-3456-2050